



学校だより

阿見No. 1

あみいち!

令和4年6月3日(金)

2022年度 第3号

阿見町立阿見第一小学校

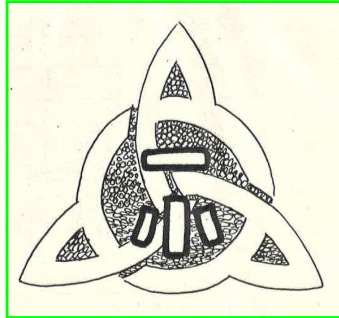
(文責 小林 正敏)

阿見第一小学校 47年目の年を迎えました! —開校の物語(「学校沿革史」から)—

どの学校にも、「学校沿革史」と言って、各年度の中で起きた出来事や行事、特に書き残しておきたい事項などを、毎年、記載していく歴史の記録のようなものがあります。

この記録は、その学校が設立された年に記載を始め、その学校が続く限り、永遠に書き継がれていくものです。

本号では、本校の「学校沿革史」の中から、開校当時の記録を紹介させていただきます。(原本を若干修正、割愛等をさせていただいております。)



原本 教務主任 野口次男 先生 作



お別れ集会「ローソクの火の光で送られる児童と職員」

- 昭和47年3月3日 町教育委員会より提案した開校に対する議案・予算案について協議し、町議会において決定する。
- 昭和47年11月 学校設立の位置を「阿見町大字阿見5676番地(現在地)」に決定する。
- 昭和50年9月 校舎の建築を開始し、昭和51年5月25日に竣工検査を受ける。その後、一部の改造等を経て、昭和51年5月25日に完成となる。
- 昭和50年12月14日 町教育委員会において、本校の学区を決定する。
- 昭和50年12月19日 阿見町立阿見第一小学校の設置条例が町議会に提案され、校名が正式に決定する「稲敷郡阿見町立阿見第一小学校」
- 昭和51年4月1日 阿見小学校の児童増により分校する。阿見小学校の一部を使用し開校する。
- 昭和51年4月6日 阿見中学校の体育館において、阿見小学校と合同にて挙式する。
・児童数 733人 ・教職員数 25人
- 昭和51年5月27日 お別れ集会
午前中、曇天の中、阿見小・阿見第一小、児童全員が徒競走、団体競技などをして楽しむ。終わって、記念品の交換をする。これは小遣いから集めた金を相互に贈る会で、約3万円を贈り合う。
また、記念のカードの交換もする。児童各自が思い出の絵や言葉をかいたカードを贈ったものである。
夜は火を燃やし、その周りでゲームを楽しむ。終わって、ローソクの火の中を第一小の児童は送られて下校する。
- 昭和51年6月6日 阿見町立阿見小学校から正式に分離する。
この日をもって、阿見町立阿見第一小学校の創立記念日と定める。
6月6日は晴天に恵まれ、PTAから150名、武器学校からトラック5台、5・6年生児童並びに職員等27名、阿見小学校児童・職員の応援をいただき、分離・移転のため引越作業を始める。
この前日6月5日は雨天ではあったが、1年～6年まで、各自の椅子を背に、担任引率のもとに、阿見小より第一小まで長蛇の列を作り移転作業を行う。
- 昭和51年9月4日 校章は、8月中にPTA・一般から公募したものであったが、本校職員が応募したものが採用された。
図案は、阿見町の「ア」を片仮名で三つ組み合わせ、中に「一小」と入れ、阿見町の第一小学校という意味である。
この制定については、学校並びにPTA代表が投票により決定し、教育委員会、役場総務課の意見を聴取の上、制定したものである。
- 昭和52年6月7日 校歌が制定される。
作詞 川上宏昭先生(中央青年の家所長(当時))
作曲 鈴木良朝先生(水戸市教育委員会指導主事(当時))

5、6年の学年通信で「創立47周年」と紹介しましたが、下記のように誤りがございましたので、訂正してお詫びいたします。

※赤ちゃんが生まれると、「0歳の時は誕生1年目」、「1歳の誕生日が1周年と同じ」というのと同じこととなります。(本校は誕生して47年目、46回目の誕生日を迎えます。)